

無料開館DAY

4月20日(金)、5月30日(水)

託児サービスDAY *事前申込制。詳細は当館webサイトをご覧ください

4月21日(土)、5月19日(土)、6月23日(土)

「ひと」とつながる *申込不要

岡山や当館、そして本展につながる人物をお招きし、トークイベントを開催します。

鼎談：県立美術館の今、そして未来へ

|日 時| 4月21日(土) 14:00-15:30

|講 師| 島谷弘幸(九州国立博物館館長)、水沢勉(神奈川県立近代美術館館長)、守安収(当館館長)

|会 場| 2階ホール(当日先着210名・無料)

ファッショントーク：展示作品にみる装いとその時代

|日 時| 5月30日(水) 11:00-

|講 師| 廣田理紗(島根県立石見美術館主任学芸員)

|会 場| 地下1階展示室(要観覧券)

座談会：地域とつながる美術

|日 時| 6月3日(日) 14:00-

|講 師| 竹内佑宜(津山市観光協会会長)、徳田恭子(NPO法人「まちづくり推進機構岡山」理事)、片山康之(美術家) / 進行: 福富幸(当館主任学芸員)

|会 場| 地下1階講義室(当日先着70名・無料)

アーティストトーク：小野耕石(版画家) × 古川文子(当館学芸員)

|日 時| 6月16日(土) 14:00-

|会 場| 地下1階展示室(要観覧券)

「もの」とつながる *申込不要

出品作品(=もの)について学芸員が見どころをご紹介します。

担当学芸員によるフロアレクチャー

|日 時| 4月29日(日)、5月13日(日)、5月19日(土)、*6月23日(土) 14:00-

*4月27日(金)、5月25日(金)、6月29日(金)

18:00-(*手話付)

|会 場| 本展会場(要観覧券)

美術館講座

|日 時| ①5月12日(土)「岡山の洋画家 東京・関西・欧米へ」

②5月26日(土)「雪舟と中国」

③6月9日(土)「海外での学び 松岡寿と原田直次郎」

14:00-

|講 師| 担当学芸員

|会 場| 地下1階講義室(当日先着70名・無料)

ボランティアによるギャラリートーク

会期中の土日祝 11:00/13:00から開催(要観覧券)

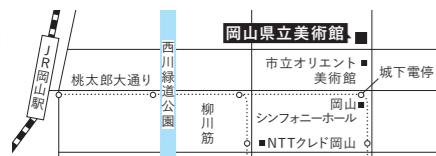
対話型鑑賞体験ツアー

5月20日(日)、6月17日(日) 14:00-(要観覧券)

岡山県立美術館

700 0814 岡山市北区天神町8-48
TEL 086 225 4800 FAX 086 224 0648
kenbi@pref.okayama.lg.jp
http://okayama-kenbi.info/

交通案内 [JR岡山駅後楽園口(東口)より]
・徒歩:15分
・路面電車:東山行【城下】下車 徒歩3分
・岡電バス:藤原団地行【天神町】下車すぐ
・宇野バス:四御神/瀬戸駅/片上方面行【表町入口】下車徒歩3分
岡山後楽園行「岡山県立美術館」下車すぐ
・循環バスめぐりん:「表町入口」下車 徒歩3分
*ご来館の際はできる限り公共の交通機関をご利用下さい。



「こと」とつながる

「コネクト=つながり」をテーマに、様々な体験型イベントを開催します。

綴る：和綴じ本づくりWS

|日 時| 4月22日(日) 13:30-

|講 師| 山下香織(岡山県立記録資料館司書)

|会 場| 地下1階屋内広場

|定 員| 20名(申込先着順・材料費500円)*

画材からみる日本の絵画：画材づくりWS+ランチ+トークセッション

|日 時| 4月28日(土) 11:00-16:00

|講 師| 森山知己(日本画家)、降旗千賀子(目黒区美術館学芸員・学芸係長)、岡本裕子(当館主任学芸員)

|会 場| 地下1階研修室・屋内広場

詳細はおかやま文化芸術アソシエイツのwebサイトをご覧ください。

県美の30年：県美検定2018

|日 時| 5月5日(土) 13:30-

14:45 解説 / 16:00 認定証授与

|会 場| 地下1階講義室(当日先着70名・無料)

縁結び：招き猫づくりWS

|日 時| 6月10日(日) 10:30/13:30

|講 師| 虫明比斗子(招き猫美術館学芸員)

|会 場| 地下1階屋内広場

|定 員| 各回20名(申込先着順・材料費1,300円)*

装い：コサージュづくりWS

|日 時| 和もの=5月27日(日) / 洋もの=6月24日(日) 13:30-

|講 師| 当館ボランティアスタッフ

|定 員| 20名(申込先着順・材料費300円)*

“茶・酒・食・器”とつながる

①茶：煎茶 / 抹茶 + 器 + 和菓子

|日 時| 抹茶=5月6日(日)、6月3日(日) 11:00- / 煎茶=5月20日(日)、6月17日(日) 各日午前・午後一席

|講 師| 抹茶=当館ボランティアスタッフ、煎茶=赤松玉女(煎茶道一茶庵直門教授)

|参加費| 500円

|定 員| 抹茶=60席(申込不要)、煎茶=各席30席(申込先着順)*

|会 場| 地下1階屋内広場

②酒：鑑賞+トーク+岡山の地酒+備前焼

|日 時| 5月19日(土) 15:30-20:00

|講 師| 備前陶心会作家 他

|定 員| 20名(申込先着順・参加費4,000円)*

|会 場| 本展会場、CCCSCD(カフェ)

③食：鑑賞+トーク+岡山の食材+備前焼

|日 時| 6月15日(金) 15:30-20:00

|講 師| 備前陶心会作家 他

|定 員| 20名(申込先着順・参加費4,000円)*

|会 場| 本展会場、城下カフェ

*申込詳細は当館webサイトをご覧ください

表面中央下：正阿弥勝義 《麟鳳龍鼎式香炉》 19-20世紀
野崎家塩業歴史館

- 重要文化財 玉調 《嵐山図》 13世紀
- 重要文化財 雪舟等楊 《山水図(做玉調)》 15世紀
- 浦上玉堂 《秋江雨晴図》 19世紀前半
- 浦上春琴 《名華百鳥図》 1821
- ガブリエル・フォン・マックス 《煙を出す壺を抱く女性》
制作年不詳 島根県立石見美術館
- 原田直次郎 《風景》 1886
- 正阿弥勝義 《菊花虫図菓子器》 19世紀 林原美術館
- 金重陶陽 《梅に鶯帖画》 20世紀

- 竹久夢二 《夏姿》 20世紀 夢二郷土美術館
- 作者不詳 《簪・こうがい》 昭和初期 岡山県立博物館
- 森本美由紀スタイル画
© Miyuki Morimoto / 森本美由紀 作品保存会
- ビエール・バルマン イブニングドレス 1955年頃 島根県立石見美術館
- 下道基行 《Dusk/Dawn Thira/Siem Reap》 2011
- 瀬本容子 《祝祭》 1997
- 坂田一男 《コンポジション(メカニック・エレメント)》 1955
- 岡本欣三 《桃壽光水指》 1981
- 内田智也 《Combination Nest#2001》 2000
- 大西伸明 《mini kupa》 2008

*都合により、展示作品・公開期間が変更になる場合がございます。

岡山県立美術館開館30周年記念展

4月20日(金)と5月30日(水)は無料開館

*4月30日(月・祝振)は特別開館 / 5月29日(火)は休館

*会期中、毎月最終金曜日は19時まで開館



KENBI CONNECTION

つながる「ひと」・「もの」・「こと」

4 / FRI — 7 / SUN
2018 20 — 1

1期 _____ 2期 _____
4月20日(金) - 5月27日(日) 5月30日(水) - 7月1日(日)
指定文化財の公開はそれぞれ約2週間程度です。展示期間をご確認ください。



岡山県立美術館

岡山県立美術館 コネクション

岡山県立美術館開館30周年記念展

岡山県立美術館は昭和63(1988)年、瀬戸大橋、岡山空港とともに岡山県の大規模プロジェクトの一つとして開館しました。アクセスのよい市街地に位置し、本県のみならず中・四国そして世界の人や物が行き交う文化の拠点として、さまざまな事業に取り組んでいます。県立であることの意味を鑑み、常に“岡山ゆかり”を念頭に活動してきました。このたび開館30年の節目を迎えるにあたり【ゆかり=つながり=コネクト】をキーワードに、全館を使用してこれまで培ってきた「ひと・もの・こと」を取蔵作品とともにさまざまな関連事業を行うことをご紹介します。“岡山ゆかり”であることがいかに豊かな文化を内包するものであるか、改めてお気づきいただけることでしょう。

500年前の抽象絵画!?

これは中国人画家・玉潤と、それをマネした(!?)雪舟の絵。海を越え、時代を越えてつながる東アジアの絵画をご紹介します。



01. 展示期間：5月30日-6月10日



02. 展示期間：6月8日-7月1日

この二人、親子なんです。

江戸後期の文人・浦上玉堂とその息子・春琴。窯業地・備前を支える家々。それぞれの家族のありかた、そして受け継がれたものとは？



03. 1期展示



04. 1期展示

05. 2期展示



青春のワンシーン

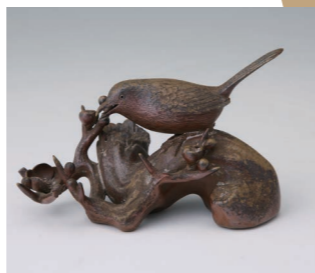
岡山ゆかりの画家たちが学んだ地域のつながり、そして海外で出会った師や友人との交友からその影響を探ります。

生きものへのまなざし

美術の題材として多く取入れられてきた身近な植物や動物。それぞれどんな生きものが作品に潜んでいるのでしょうか？



07. 2期展示



08. 1期展示



06.

ときめくファッション

いつの時代も、憧れを抱き着飾ってきた女性たち。1期では和装、2期では洋装をテーマに、描かれた装いと服飾品を展示します。

09. 1期展示



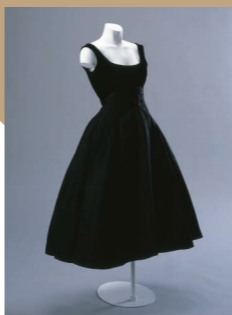
11. 2期展示



10. 1期展示



12. 2期展示



モノとカタノ型ノ形

素材や技法に着目し、モノ=単一的要素や様々な“カタ”により表現された作品をお楽しみ下さい。



17.



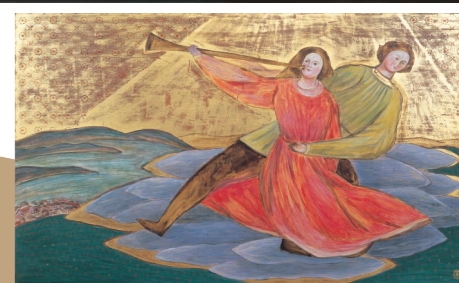
18.

時をこえて

つながっている瞬間や時の経過、そして現実を超えたシュルレアリスムなど「時」にまつわる作品世界をご堪能下さい。



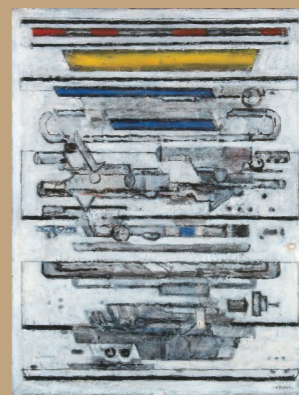
13.



14.

視点を変える一線と色の豊かさ

多様な視点で描かれた抽象画とともに、構成する上で重要な色や線に焦点をあて、様々なジャンルの作品からその魅力に迫ります。



15.



16. 1期展示

KENBI CONNECTION

つながる「ひと」・「もの」・「こと」

当館の取蔵作品（寄託作品を含む）は、大きく“岡山ゆかり”であることを前提としています。古書画、日本画、洋画、版画、写真、工芸、彫刻、現代美術など多岐にわたる作品は約4500点に及び、「岡山美術」展と題し、年10回程度の展示替えを行いながら順次公開しています。このたびの記念展では、取蔵作品をいくつかのテーマに分け、“岡山ゆかり”から広がる「ひと・もの・こと」を全館を使って展示します。【1期】は春、家族や地域とのつながりを中心に、【2期】は夏、作家や作品がここにあることからさらに広がっていく豊かな美術の世界を他館の作品も交えながらご紹介します。

- 2階展示室
- | | | | | |
|------|------------|-------------|--------|------------------|
| 【1期】 | ○つながる地域と雪舟 | ○親子・家族のつながり | ○岡山と民藝 | ○洋画家の地域のつながり |
| 【2期】 | ○雪舟がつないだ時代 | ○岡山の四条派 | ○竹喬と蓬邨 | ○海外での学び一師や仲間との交流 |
- 地下展示室
- | | | | | | | | |
|------|------------|-------------|--------|--------|-------|---------|--------|
| 【1期】 | ○動植物へのまなざし | ○ファッション(和装) | ○岡山の風景 | ○時間・時代 | ○シュール | ○抽象一色・線 | ○モノ・カタ |
| 【2期】 | ○動植物へのまなざし | ○ファッション(洋装) | ○岡山の風景 | ○時間・時代 | ○シュール | ○抽象一色・線 | ○モノ・カタ |